

第2回 デ・レイケ導流堤

明治150年記念 シンポジウム in 大川

とき 平成30年2月24日(土) 13:00~18:00

ところ おおかわ交流プラザ 大川シネマホール 4F



<並行導流堤群>

◆シンポジウム 13:30~16:30

【開催主旨】

明治期の土木遺産としての筑後川改修工事と筑後川導流堤の謎をさぐる。

【キーワード】

- ①明治時代の大公共工事
- ②物流・拠点 若津港
- ③制水工との並行導流堤
- ④国の重要文化財の指定登録
- ⑤大川市観光の活性化

基調報告

NPO 法人 大川未来塾
理事 本間 雄治

パネルディスカッション

<コーディネーター>

●佐賀大学 名誉教授 荒牧 軍治

<パネラー(予定)>

●佐賀大学 大学院教授 大串浩一郎

●国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所 前事務局長 富岡 誠司

●(一社)北部九州河川利用協会 理事長 田中慎一郎

●東京建設コンサルタント(株) 部長 伊納 浩

◆デ・レイケ導流堤移設展示

◆TELAZZA(テラッツァ)

見学会 17:00~18:00

デ・レイケ導流堤に
深く関った人達



ヨハニス・デ・レイケ(1842~1913)
【筑後川改修工事監修】



石黒五十二(1855~1922)
【筑後川改修工事設計】



米多比豊治(1871~1935)
【導流堤工事現場監督】
(唯一の地元証言者)

主催／NPO 法人 大川未来塾 共催／(一社)北部九州河川利用協会

後援／国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所、大川市
大川市教育委員会、大川商工会議所、大川信用金庫

お問い合わせ先

NPO法人 大川未来塾事務局 ☎090-3735-3119

